

令和5年

第3回仙北市議会定例会

市 政 報 告

仙 北 市

令和5年第3回仙北市議会定例会 市政報告

令和5年第3回仙北市議会定例会の開会にあたり、主要事項についてご報告します。

はじめに、令和5年春の叙勲の受章についてです。

4月29日、春の叙勲の発表がありました。仙北市では、地方自治功
労で元市議会議員の稲田^{いなたおきむ}修^{きよくじつしょうじゅしやう}さんが旭日小綬章^{やつやなぎりやうたろう}を、八柳良太郎^{やつやなぎりやうたろう}さん
が旭日双光章^{きよくじつそうこうしやう}を、消防功労で元仙北市消防分団長の戸澤^{とざわこうさく}幸作^{とざわこうさく}さん、
鈴木^{すずきひろし}博^{ひろし}さん、山手^{やまてよしみ}善美^{よしみ}さんが、瑞宝^{ずいほうたんこうしやう}単光章^{たんこうしやう}を受章されました。

この度の受章は、永年にわたる職務の精励や功績、功労が認められたものです。市民の皆さんと共にご労苦に感謝し、心からお祝いを申し上げます。

次に、行財政改革についてです。

市民3千人を対象に実施した市民意識調査の集計及び分析作業を進めています。この結果は、市民の皆様の声を直接反映し、市の施策の効果や暮らしの現状の評価を行うための重要な基礎となります。現在行っている施策評価では、この調査内容をフィードバックし、今後の施策形成に直接活かします。

また、事務事業評価では、市単独経費が多い事業を抽出し、拡充から廃止までの判定を行い、次年度予算に反映させます。

さらに、今年度は、職員の長時間労働による健康被害の防止と財政の健全化のために、人員配置と人件費の適正化を目的とした業務量調査を実施しています。

これらの行財政改革を徹底的に実施し、市民の幸福度が全国ナンバー1となることを目指します。

次に、仙北市人口動態についてです。

5月31日現在の人口は2万3,747人で前年同月比670人減、世

帯数は1万384世帯で前年同月比81世帯減となっております。今年度5月までの出生数は11人となっております。前年同時期の出生数は10人で、1人増という状況です。

次に、一般会計補正予算(第3号及び第4号)についてです。

第3号の補正額は、1億 1,333 万9千円の追加で、補正後の額は206億9,787万6千円です。補正事業は、電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金です。初回の給付を7月中に行うため、早急に実施する必要があることから、定例会初日の議決をお願いするものです。

第4号の補正額は、4,194 万9千円の追加で、補正後の額は 207億 3,982 万5千円です。主な事業は、障害者支援施設等物価高騰対策事業費、敬老祝い金支給事業費、介護保険施設等物価高騰対策事業費、保育所等光熱費価格高騰対策事業費、消防団員家族慰労金支給事業費、角館小学校・白岩小学校統合関係事業費などです。債務負担行為補正は、追加及び変更です。

なお、本日提案する補正予算案のほか、市独自の物価高騰対策について、本定例会に追加提案したいと考えており、詳細を検討しているところです。

また、令和4年度一般会計決算見込みについては、5月31日の出納閉鎖後の決算数値を精査し、最終確認を行った上で本定例会中に報告の機会を持ちたいと思います。

それでは、各部局等の主要事項及び諸般の状況を報告します。

【総務部】

◇火災の発生について

4月23日、角館町藪田地内で杉の枝葉などを焼く火災、5月2日には西木町上桧木内地内で物置を全焼する建物火災、5月21日には角館町川原地内で杉の枝葉などを焼く火災、6月4日、西木町桧木内地

内でビニールハウスを焼く4件の火災が発生しました。

これらの火災で幸い人的被害はありませんでしたが、今後も定期的にメールやライン、防災無線などで火災予防の注意喚起をしていきます。

◇遭難事故について

5月6日、玉川地内の山林で市内在住の男性が倒れている状態で発見され、死亡が確認されました。この男性は5日から山菜採り下見のため入山し、6日早朝から知人らが搜索しておりました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

5月20日、秋田駒ヶ岳で盛岡市在住の女性が、登山中に約30m滑落して負傷し、ヘリで大曲厚生医療センターへ搬送されました。命に別状はありませんでした。

6月5日、乳頭山で宮城県在住の男性から、登山中に道に迷ったと通報があり、搜索隊が救助しました。けがはありませんでした。

6月6日、田沢地内で市内在住の男性がタケノコ採り後、下山中に体調不良を訴え、救助要請があり、角館総合病院へ搬送されました。

また同日、玉川地内に山菜採りに行った大仙市在住の男性が行方不明となり、8日に無事に発見されました。

登山や山菜採りの遭難事故が続いており、メールやライン、防災無線、チラシ配布などでの注意喚起を強化します。

◇大仙市でのクマ被害について

5月11日、大仙市長野の八乙女公園近くの山林で、市内在住の男性がクマに襲われ、頭などを負傷し搬送されました。市内でも目撃情報が多いことから、事故防止の注意喚起をしています。

【企画部】

◇ふるさと納税について

ふるさと納税寄附額のさらなる増加に取り組むべく、中間事業者を

プロポーザルにより一本化しました。

選定された事業者は、株式会社ウィルドリブンで、県内市町村のふるさと納税を柔軟な発想でサポートし、返礼品事業者開拓、返礼品提案、サービス向上へ向けてアドバイス等を行い、納税額増加に寄与している企業です。

今後、総務省のアドバイザー制度と併用し、今年度はふるさと納税額県内初の20億円超えを目指します。

◇国際ナショナルスクール誘致事業について

デジタル田園都市国家構想交付金を活用する国際ナショナルスクール誘致事業関連3業務について、プロポーザル方式により委託候補者が決定しました。はじめに誘致PR事業は株式会社Japan Navi、市内遊休施設等調査は株式会社北都銀行、MaaS事業化企画・運営は東日本旅客鉄道株式会社が選定されました。

今後は秋田県や国際教養大学等と連携し、各事業者と誘致に向けた取り組みを実施していきます。

◇サテライトオフィス誘致推進事業について

サテライトオフィス誘致推進事業関連3業務について、プロポーザル方式により業者選定を行いました。はじめにサテライトオフィス誘致PR・企画運営はみらい株式会社、新型モビリティサービス導入企画・運営は嘉創株式会社、デジタル人材育成研修企画・運営は株式会社リベリ秋田が選定されました。

いずれの企業も昨年度実施した誘致モニターツアーに関連した企業で、今後、角館駅前にオフィスをかまえる予定です。新規誘致への取り組みと併せ、誘致した企業が仙北市に根付いていただくよう取り組んでいきます。

◇秋田新幹線新仙岩トンネル整備促進期成同盟会総会及び整備促進大会について

5月18日、大仙市のグランドパレス川端を会場に秋田新幹線新仙岩トンネル整備促進期成同盟会の総会及び新仙岩トンネル整備促進大会が開催されました。

新仙岩トンネルは、災害リスクの軽減により秋田新幹線の定時性を確保し、円滑なアクセスを可能とする本市の経済・発展に大きく寄与することが期待される重要なトンネルです。

今後も関係自治体と連携し、要望活動を行うなど整備促進に向けて取り組めます。

【市民福祉部】

◇マイナンバーカードの交付状況について

仙北市のマイナンバーカードの4月末現在の申請率は78.95%、交付率は71.96%となっております。

引き続き、市役所内において顔写真の撮影からカード申請完了までのサポートを行います。

◇老人保護措置費費用徴収金算定誤りについて

養護老人ホーム角館寿楽荘に入所している入所者の費用徴収金について、令和4年7月の算定時に、収入や経費の計算誤りがあったことが判明しました。

見直し再算定を行った結果、誤りは17件でした。減額の必要なケースが7件で、還付額の合計額は20万5千700円、増額の必要なケースが10件で、合計額は141万6千956円でした。

寿楽荘を訪問しお詫びを申し上げるとともに、還付に関しては、令和4年度分を5月中、令和5年度分は6月中に還付をするよう事務手続きをしております。増額算定による徴収金については、老人保護措置費の国庫負担(費用徴収基準)の取扱い細則に基づき、遡及請求はできないため、6月分から正規な額を請求します。

原因は、当時の担当職員が業務をよく理解しておらない上に、チェック体制が不十分であったことが挙げられます。

今後は、担当職員のみならず、関係職員にも業務に対する理解度を高めるよう指導し、算定に誤りがないようチェック体制を強化し、二度とこのようなことが無いように適正な事務処理に努めてまいります。

【観光文化スポーツ部】

◇令和5年度第一四半期の観光客数について

令和5年の1月から3月までの入込み客数は、前年同月比21.7%増の373,471人で、うち宿泊客数は43.0%増の80,959人となりました。

特にインバウンド(訪日外国人)の増加が顕著で、この間の外国人宿泊客数は、前年同月の約100倍の5,510人となりました。1,229人の台湾を筆頭に、韓国、香港、オセアニア(オーストラリアとニュージーランド)の順に多く、アメリカやヨーロッパからもそれぞれ300人を超えるなど、小正月行事やスキー場などがインバウンド客で賑わいました。

◇あきた花紀行について

今年の桜前線は過去最速で北上しましたが、桜まつりの観光客数はプレオープンの4月15日からの計上では70万9千人と推計しており、コロナ前の令和元年の140万1千人に比べると約50%、令和4年度に比べると116%となりました。

◇第36回田沢湖マラソンの開催について

4月26日、田沢湖マラソン実行委員会を開催し、大会を9月17日に開催することを決定しました。また、物価高騰により経費のかかり増しなどが想定されることから、ペアマラソン以外の各種目の参加料について引き上げることをあわせて決定しました。

新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが変更されたこともあり、会場内における手指消毒などの基本的な感染対策は講じつつ、コロナ禍前と同じような形での開催となります。

6月1日からエントリー受付を開始しており、たくさんのランナーに参

加いただけるよう、引き続き公式ホームページやSNSなどを活用して広く周知してまいります。

◇台湾親善大使の任命について

5月9日、仙北市として初めての台湾親善大使に^{ひととたえ}一青妙さんを任命しました。これは昨年、仙北市国際交流協会主催の講演会にお招きしたことが縁で今回の就任となったものです。

^{ひとと}一青さんは台湾にルーツを持ち、女優、エッセイスト、歯科医と様々な分野で活躍されていることから、仙北市の魅力発信、台湾との親交の深化、交流の促進に市としても期待をよせています。今後のインバウンド観光に繋がりたいと考えています。

◇仙北市観光大使の交流会について

5月19日、都道府県会館を会場に仙北市観光大使の交流会を開催しました。

現在10名いる観光大使と1名の台湾親善大使のうち、今回参加されたのは、株式会社バスクリンの取締役相談役の^{こがかずのり}古賀和則さん、音楽プロデューサーのha-jさん、青山学院大学名誉教授の^{はしもとおさむ}橋本修さんの3名の観光大使で、短い時間でしたが、現在の仙北市の状況やさまざまな市の取り組みについて、活発な意見交換を行うことができました。来年度以降も継続的に開催し、仙北市の情報発信に繋がります。

◇全国伝統的建造物群保存地区協議会(伝建協)について

5月22日から24日、兵庫県丹波篠山市を会場に開催された「第45回全国伝統的建造物群保存地区協議会総会・研修会」に参加しました。全国から476名の参加があり、^{すがよしひで}菅義偉前内閣総理大臣の特別基調講演では「地域の歴史や文化財を活用したまちづくりが地方を元気にし、国全体の活力につながる」と大変心強いエールをいただきました。

事例発表では、金沢市・丹波篠山市などの保存会による住民自治

の取り組みがすばらしく、大きな刺激を受けたところです。今後も全国の伝建協副会長として要望等を取りまとめ、役割を果たしてまいります。

◇これが秋田だ！食と芸能大祭典について

5月27日、28日、秋田市で開催された「これが秋田だ！食と芸能大祭典」に、「角館祭りのやま行事」が出演しました。お囃子、手踊りが披露され、来場された多くの方々に角館のお祭りの魅力を伝えました。また、紙風船上げの願いごと記入や樺細工の製作体験等のコーナーも設けられ、県内各地の伝統芸能とともに会場を大いに盛り上げました。2日間で、家族連れなど9万5千人あまりが会場を訪れ、賑わいました。

◇秋田駒ヶ岳山開きについて

6月1日、秋田駒ヶ岳が山開きとなりました。今年は駒ヶ岳八合目での安全祈願祭の後、4年ぶりに記念登山が行われ、仙北市側から80人あまり、雫石町側からは70人あまりの方々が参加し、男岳頂上^{おだけ}でピッケル交換を行いました。

【農林商工部】

◇新規就農者等の確保・育成について

仙北市の農業の担い手育成について、今年度は県の未来農業フロンティア育成研修において新規研修者1人、2年目の研修者2人が、秋田県農業試験場などで研修に取り組んでいます。また、農業研修を終えた2人が新規就農者として営農を開始しており、地域農業を牽引する担い手として期待しています。

◇市内ほ場整備について

神代地区で事業実施中の農地集積加速化基盤整備事業は5年目を迎え、全体計画のうち岡崎地区周辺で6工区、33.2ヘクタールの面工事を行います。

生保内南地区では農地集積が完了し、昨年度から引き続き補完工事を行っています。作業効率の向上とコストの削減、高品質な稲作農業が展開されます。

中川地区では事業実施中の農地中間管理機構関連ほ場整備事業は2年目を迎え全体地区のうち、高屋地区で16.9ヘクタールの面工事を行います。大瀬蔵野地区は、今年度は県単調査・計画策定(現況平面図作成業務)を行います。

◇田沢湖玉川地区の国有林への入山禁止措置について

秋田森林管理署、秋田県自然保護課、仙北地域振興局、仙北警察署、田沢湖猟友会などで構成されるツキノワグマ対策連絡会議では、田沢湖玉川地区の国有林でのツキノワグマ生息状況などを踏まえ、平成30年度から引き続き春の雪解けから秋の降雪までの間、国道341号沿いから国有林への入林を禁止することとしました。安心・安全を確保するためご理解をお願いします。

◇利子補給及び保証料補給金に係る事務手続き不備について

利子補給について、令和2年度及び3年度の新型コロナウイルス感染症経済対策に関する秋田県経営安定資金貸付金利子補給の債務負担行為が395件、2,812万3千円及び令和5年度歳出予算が237件、202万3千円の計上漏れ、また、保証料補給金について、平成25年度から令和5年度の中小企業振興資金貸付金に関する秋田県信用保証協会保証料補給金の債務負担行為が185件、1,602万3千円の計上漏れの事実が判明いたしました。

利子補給及び保証料補給金は、地方自治法の規定により債務負担行為の議決後に契約するべきとなっておりますが、本来議決を得ておくべき債務負担行為の議決及び歳出予算の計上について、確認を失念しておりました。

市民の皆様の信頼を損ねることになり、深く反省するとともにお詫びを申し上げます。再発防止策として、事務の見える化を図り、職員相互

にチェックする二重確認体制を徹底します。二度とこうした事態を起こさないよう、再発防止に努めます。

関係予算を本定例会に提案しています。よろしくご審議をお願いいたします。

◇インスペック株式会社の先進7カ国(G7)科学技術相会合への展示について

5月12日から3日間、先進7カ国(G7)科学技術相会合が仙台市で開催され、会場には東北各県の企業や大学計24団体が高い技術力や研究成果を紹介する展示コーナーが設けられました。

企業2社のうち、本市からインスペック株式会社が展示を行い、自社製品である半導体検査装置の特長などを紹介しPRしました。会場には各国代表団や海外メディアが多数訪れたことから、海外に発信する好機となりました。

【建設部】

◇国道整備促進期成同盟会について

5月10日、大仙市の大曲エンパイヤホテルを会場に、地域高規格道路本荘大曲道路整備促進期成同盟会の通常総会が開催されました。

また、5月26日、グランデールガーデンを会場に国道46号地域高規格道路盛岡秋田道路整備促進期成同盟会と地域高規格道路大曲・鷹巣道路整備促進期成同盟会の通常総会を開催しました。

本荘大曲道路、大曲鷹巣道路は共に秋田県の縦軸となる国道105号、国道46号盛岡秋田道路は岩手県と秋田県の県都を結び、秋田県の横軸で、いずれも地域の発展に大きく寄与する重要な道路です。

今後も関係自治体と連携し、要望活動など、国道整備促進に向けた取り組みを強力に進めます。議会の皆様の特段のご理解とご協力をお願いいたします。

◇水道事業について

水道未普及地域解消事業は、昨年度、山谷川崎地区が完成し、今年度より卒田地区に傾注し配水管敷設工事等を行います。国庫補助内示は要望額に対し満額となりました。

◇下水道事業について

仙北市下水道ストックマネジメント計画に基づき、今年度から国庫補助事業で田沢湖浄化センター改築更新事業を行います。国庫補助内示は要望額に対し満額です。また、昨年11月の仙北市下水道使用料等検討委員会の答申を受け、これまで議員全員協議会等でご説明しております料金改定関連議案を提案しています。よろしくご審議をお願いいたします。

【医療局】

◇新型コロナウイルス感染症5類移行後の診療体制等について

角館総合病院、田沢湖病院ともに5月8日の5類移行後も、外来対応医療機関として発熱外来機能を継続しています。4、5月の検査件数は、田沢湖病院で対前年比136件増の191件、角館総合病院で対前年比50減の629件となっています。

また、コロナ入院患者の受入体制については、角館総合病院は、これまでと同様の最大17床、うち中等症Ⅱの受入れ病床4床を確保し、田沢湖病院も、新たに軽症・中等症Ⅰの受入れ病床2床を確保しています。

◇令和4年度決算見込みについて

田沢湖病院は、診療単価の改善がみられ、前年度より赤字額は389万円減少したものの、院内クラスターの影響などで病床利用率が伸び悩み1,040万3千円の赤字、角館総合病院は、外来収益やコロナ関連の補助金が増加したことにより、収益全体では前年度並みとなりましたが、入院収益の減少とコロナ対応による危険手当の増などが影響し、前年度より赤字額が3,701万3千円増加し、3億1,787万4千

円の赤字となる見込みです。

【農業委員会】

◇農業委員会委員及び農地利用最適化推進委員の選任について

12月19日任期満了となる農業委員会委員及び農地利用最適化推進委員について、6月19日から7月18日まで候補者の推薦及び募集を行います。

農業委員会委員については、候補者選考委員会の後、候補者を9月定例会に提案する予定です。また、農地利用最適化推進委員については、現農業委員会委員による候補者評価委員会の意見を参考に、農業委員会の同意を得て選任することになっております。

以上、主要事項及び諸般の報告を申し上げます。本定例会に提案している案件は、報告関係5件、条例関係10件、予算関係6件、その他2件、人事関係1件の計24件です。

慎重審議の上、ご可決を賜りますようお願い申し上げます、市政報告とします。